

館報

やまがた



1
月号

No. 837

令和8年
(2026年)



働く姿
リース

果樹栽培の発展に尽力

竹岡 純さん(安曇野市)

JA資材課に所属し、営農相談員を経て、指導員となりました。りんごをはじめ、桃、葡萄の指導に携わっています。

「近時の厳しい気象条件の中でも、良い品質の作物が栽培できるよう日々心掛けながら指導しています」と話していました。

農業を取り巻く厳しい環境の中、JA松本ハイランド・山形村の果樹振興に努めています。

(12月23日 山形村圃場にて)

告知板

公民館講座のお知らせ

2月も魅力的な公民館講座がいっぱい!
気軽にご参加ください。

募集中の講座

シルバー向け防災講座

〈内容〉防災食の実食など体験型の防災講座です。

〈日時〉2月10日(火)10:00~12:00頃

〈場所〉トレセン「大ホール」

〈参加費〉無料 〈申込み〉必要

バレンタインスイーツづくり

〈内容〉バレンタイン向けの甘~いスイーツをつくろう。

〈日時〉2月11日(水・祝)13:00~16:00

〈場所〉トレセン「調理室」「食堂」

〈参加費〉1,000円/組

〈申込み〉必要(定員:6組程度)

劇場映画「蜂の子」から学ぶ

〈内容〉65年前に山田洋次監督が脚本した児童劇映画を見て、当時を学びます。

〈日時〉2月12日(木)13:30~15:30

※上映時間は50分程度です。

〈場所〉トレセン「大ホール」

〈参加費〉無料 〈申込み〉不要(当日参加可)

各講座の詳細は
ホームページを
ご覧ください。



【お問い合わせ・お申し込み】

山形村教育委員会 ☎0263-98-3155

していまし
た。た
だきたい
です」と話
します。一人
ひとりが火
の元に十分
留意してい
ます。一
人には
山形村消防団長の中川英樹
さん(小坂)は「年末特有の気
ぜわしさからくる不注意によ
る火災が多い」という統
計が出てい
ます。



勢ぞろいした消防車

「目を見開いて伝えた」とい
う。これは、電子書籍の登場以
来、多くの人々に大きな衝撃をもたら
しました。しかし、その一方で、電子書
籍に対する懸念や問題も浮上してき
ています。たとえば、電子書籍の購入
価格が高騰する傾向があること、電子
書籍の読みやすさや操作性に関する不
満感などがあります。また、電子書籍
の普及によって、紙の書籍の需要が減
る可能性があることも、注目されています。

12月25日(木)から29日(月)までの5日間、山形村消防団による年末特別警戒が行われました。初日25日(木)の夜、ミラ・フード館で出陣式が行われ、地区の分団は次々と夜間巡回に出発しました。また同日、分団長会が行われ、本年1月1日(木)より施行された林野火災注意報についての留意事項が確認されました。林野火災注意報は松本広域消防局から発令される、乾燥時に火入れや焚火をしないよう呼びかける条例です。今回の三九郎にも直接影響していました。

山形村消防団長の中川英樹さんは「年末特有の気ぜわしさからくる不注意による火災が多い」という統計が出ています。一人ひとりが火の元に十分留意していなければなりません。たとえば、電子書籍の購入価格が高騰する傾向があること、電子書籍の読みやすさや操作性に関する不満感などがあります。また、電子書籍の普及によって、紙の書籍の需要が減少する可能性があることも、注目されています。

年末特別警戒出陣式

山すゞ

書籍にはまつてあります▼今
しがた私がコンビニで購入した漫画の最新刊を見た友人が、まさに漫画のよう目に見開いて言いました。「未だに買っているのか」と。私も

「えっ?」と友人曰く、「まだに電子書籍なら買いに行くこと・置き場所が不要になると。スマホがあれば読む場所・時間を選ばない」と。電子書籍なら買いたいと言いました。スマートフォンが読むためには費やしも高くするためには費やし日焼けを防ぐ保管体制。さらに良く言われた、好きな漫画を読み直していくと「またそれ読んでない」と呆れ顔で言われること。なるほど、電子化すれば私が今まで抱えていた問題が解決するのか。



午前中は、20名が参加して、農村マイスター5名の方を講師に、おやきと豚汁を作りました。

おやきには山形村産長芋、ウインナー、あんこ、チョコレート等を使用しました。組み合わせは自由で、オリジナルおやき作りを楽しみました。特にチョコレートが子ども達には人気でした。

豚汁の具材切りでは、子ども達は講師の指導を受け手際よく包丁を使つていきました。特に西牧湊さん（小6年生）は、「ボッチャをテレビでは見たことがあつたけど実際行うのは初めて。ボールを投げる加減が難しかつたけど、楽しくできた」と話してくれました。

実食の際は参加者全員に笑顔が溢れて、交流を深めていました。

竹田）は、「おやきは普段家では作ることがないので、昨年も参加しました。今年も美味いおやきを味わうことができてよかったです。」と話していました。



※バルシューレ…遊びを通して運動基礎能力を身につけることを目的とした。ドイツ発祥のボール運動プログラム。

木曽路へ酒蔵巡りに行きました。木曽路を北上し、中善酒造（木曾町福島）のショップで、店員から清酒の違いの説明を受けながら、参加者はそれぞれ好みの清酒を購入しました。清酒だけでなく、家族のために甘酒や酒粕を購入したメンバーもいました。

次は塩尻市奈良井の杉の森酒造へ向かいました。この酒蔵は、以前あつた老舗酒造所の後を、若手の杜氏が再興し、モダンな清酒を醸造しています。よく今回唯一試飲が可能だつたのを、早速新酒の味と香りを楽しみました。

【今後の予定】

1月31日(土) 「ワインに合うおつまみ作り」

2月10日(火) 「シルバー向け防災講座」

3月27日(金) 「マージャン講座」

くわいぱく 民館講

多世代交流

12月25日(木)、トレーニングセンターで多世代交流講座が開催されました。

午前中は、20名が参加して、農村マイスター5名の方を講師に、おやきと豚汁を作りました。

おやき作り、おやきと豚汁を作りました。

おやきには山形村産長芋、ウインナー、あんこ、チョコレート等を使用しました。

組み合わせは自由で、オリジナルおやき作りを楽しみました。特に西牧湊さん（小6年生）は、「ボッチャをテレビでは見たことがあつたけど実際行うのは初めて。ボールを投げる加減が難しかつたけど、楽しくできた」と話してくれました。

最初の西尾酒造（大桑村須坂）は、蔵元での販売がないため、製品を扱っている道の駅・大桑で店頭販売の様子を見学し、土産用の清酒の品定めをしました。

続いて木曽路を北上し、中善酒造（木曾町福島）のショップで、店員から清酒の違いの説明を受けながら、参加者はそれぞれ好みの清酒を購入しました。清酒だけでなく、家族のために甘酒や酒粕を購入したメンバーもいました。

参加者募集

このようにおやじ塾では、小旅行をしたり料理教室を行ったり、時にはボランティアで草刈りを行つたりもしています。次回1月31日(土)は、公民館講座「郷土酒を知ろう」とコラボし、午後3時からトレセンでワイン向けのおつまみづくりに挑戦します。おおむね60歳以上の男性の皆さん、一緒に活動してみませんか？1回のみの参加やお試し参加でも構いません。興味のある方は、山形村公民館までお問い合わせください。

く体育館で遊ぼう

午後はニュースポーツ等

木曽路酒蔵巡り

あかりのさんぽ道

12月20日(土)、ミラ・フード館前の広場であかりのさんぽ道が開催されました。初開催

なつてもつなが集まつて伝統になつてもつながればいい」と話していました。

池は「みんなが集まつて伝統になつてもつながればいい」と話していました。



戦後80年企画「戦争の記憶・戦後の記憶」

昨年は第二次世界大戦終戦（1945年）から80年目にあたります。館報やまがたでも特集を組むこととしました。戦争 당시すでに物心がついていた方は現在85歳を上回るでしょう。触れられたくない記憶かもしれません。取材にご協力いただけた方がたに、心から感謝申し上げます。



古川 敏夫さん
(上竹田)

胡瓜、茄子、トマトのF1採種、ポートレンチャーを用いた掘抜による長芋栽培法の確立・普及に努め、村の農業近代化の扉を開いた第一人者。1930(昭和5)年10月生まれ。現在95歳。1937(昭和12)年4月山形尋常小学校入学、昭和20年4月旧制東筑摩農学校(現在の塙尻志学館高校)入学、昭和23年4月盛岡農林専門学校農村工業実科入学、翌年3月盛岡農専修了後、4月より自宅にて就農。山形村議2期、黒川堰土地改良区理事長を歴任。

た時、祖父の死を知る上大池出身の衛生兵さんから悔やみを言われ、父の死を知った叔父から手紙が届き葬儀が行われました。

出征兵士壮行会

小学校2年になるころ召集兵士の壮行会が頻繁に行われ、週2～3回ありました。

11月号に続き、戦争を体験された村民の方にご協力いただき、当時のお話をうかがいました。今号では、昭和12年7月の盧溝橋事件が始まる、当時「支那事変」と呼んだ日中戦争に従軍、負傷帰還された叔父さんのお話を中心に、出征兵士を見送る壮行会のこと、戦後の山形村の農業について、野菜の貴族と呼ばれた長芋の栽培方法の確立についてお話をうかがいました。

聞き書き、文書編集・館報編集部 清原

日中戦争開始年に小学校入学、戦争の終わる昭和20（1945）年4月農学校（長野県東筑摩農学校、以下 東農と略記）入学でしたから、自分は戦争の子だと思います。

日中戦争に従軍した四郎叔父は、徵兵検査で甲種合格、陸軍歩兵第50連隊（通称・松本50連隊）に入営して、3月2年間の訓練を終えたばかりでした。7月7日の支那事

変後の最初の招集で入隊出征し、揚子江を渡河しての上陸作戦に従軍。戦闘中被弾し治療後前線に復帰して、再び左肺に被弾・摘出、除隊帰還となります。被弾4発すべてが貫通、身体に8箇所の傷跡がありました。負傷のたびに、在郷軍人会、青年会、婦人会、近所の人たちが神社へ治ります。

東農と略記）入学でしたから、自分は戦争の子だと思います。

大本營陸海軍部発表

昭和16年12月8日前6時、囲炉裏ばたで父と叔父が大東亜戦争開始を告げるラジオ放送を聞いて「アメリカとの戦争とは、えらいことになった」と二人で話しているのを聞いて、勝ち負けとか関

係なく、大国との戦争突入が「おつかなかつた」です。

学校生活

昭和20年4月東農に入学して、下竹田の二人と3人で自転車で神林を抜け、村井駅から汽車で塩尻まで通いました。往々は良いのですが、復りは満員で3月10日の東京大空襲の被災者が溢れるようになり、乗込み荷棚にまで人が乗っていました。着衣はボロボロ、顔は黒く煤けて疲れ果てた人々の表情は、今でも忘れられません。

終戦の年

戦争中は援農と教練、事務工作に従事。戦闘中被弾し治療後前線に復帰して、再び左肺に被弾・摘出、除隊帰還となります。被弾4発すべてが貫通、身体に8箇所の傷跡がありました。負傷のたびに、在郷軍人会、青年会、婦人会、近所の人たちが神社へ治ります。

昭和16年12月8日前6時、囲炉裏ばたで父と叔父が大東亜戦争開始を告げるラジオ放送を聞いて「アメリカとの戦争とは、えらいことになった」と二人で話しているのを聞いて、勝ち負けとか関

報道統制と威嚇飛行

8月の広島長崎の原子爆弾投下については報道されず、「恐ろしい爆弾が落ちた」くらいは風の便りに知つてしまひ、正確な情報は9月になつて知りました。飛行機の飛来が10日ほど続き、唐沢の谷に入つて行つてバリバリバ

りと音がして、機銃照射していたのかどうか不明ですが、繰り返し屋根にあたるくらいに降下して威嚇され怖かつたです。

農業近代化

農産物を加工して付加価値を付けることに興味がありましたが、東農を卒業して修業年限1年の盛岡農林専門学校農村工業実科に進学して修了後自宅にて就農しました。当時の農業は、堆肥をカマスに入れて背負って運び込む人労りでした。農地の形を整え本地して、大型機械が入りやすよう道路に面するようにしないといけない、それと並行して、現金収入を確保できる特産物を作り出すことに傾注しました。

長芋の栽培法

殊に長芋は野菜の中の貴族と呼ばれ、市場でも他の野菜とは異なり置き場所も別扱いです。正月の朝にとろろ汁を食べる風習から、年末に需要がありましたので、毎夕野菜カゴに60kgを入れ、自転車で往復2時間かけて渚にあつた青物市場に運びました。長芋栽培には、石のない火山灰土を幅12cm、深さ110cmに掘抜く必要があります、人力で芋掘り道具でやつても1日15

m掘り進むのが限界です。トレレンチャード（水道工事の溝掘り機械）を転用してゴボウ掘りに用いていることを知り、メーカーに長芋の掘り抜き用

に改良試作してもらい、ボーレンチャードが完成したのは昭和37年。生産者を増やし山村の特産品へと成長しました。昭和30年～40年にかけて、原村種長芋は20kg入り木箱5万ケースを全国に売りました。

長芋を切ればどこからでも芽が出ることが発見されて、種長芋を使わなくとも良いことになり、生産が青果の長芋作りにシフトして今があります。

特許の取得

ポートレンチャードの特許を取ることは考えなかつたのですかと問うと、ポートレンチャードで特許権が取れたけれどもね、しなかつた。百姓が長芋作れればいいと、みんな大勢の人が利用できればと思つてね。

私も百姓に生まれ「長芋の作り方を発明したこと」で、山形村に一つ産業を残せたのは私の生きた証しです。私は故郷の山形と農業が本当に好きだったからね。

取材日：令和7（2025）年

11月30日・12月20日

みんなの人権

⑯

“デフリンピックと手話文化～コーダ・Oさんの出会いや「聴導犬」のこと



◇昨年（2025年）11月、日本で初めての開催となつた

「東京2025デフリンピック」は、世界70以上の国・地域から聴覚障害のあるアスリートを迎え、100周年の

節目として大きな注目を集めました。デフリンピックは、

「聞こえる／聞こえない」に関わらず誰もが共に楽しむ共生社会の実現を象徴する場でもあり、手話言語の社会的認知を高める重要な契機となりました。◇大会期間中には国際手話の体験会や、自治体の手話応援メッセージ動画の発信、そして同年6月に施行された「手話施策推進法」に基づいて定められた手話の日（9月23日）関連イベントなどが全国各地で開催され、手話を学び交流する機会が増えたと聞いています。◇このような背景のなか、「silent（サイレント）2022年」や「A Sign of Affection（ゆびさきと恋々）2024年」など、聴覚障害や手話をテーマとしたテレビドラマや漫画原作アニメなどが放映され、聴覚障害者が直面する日常の壁や、コミュニケーションの多様性など、障害理解の入り口として多くの人の共感を誘うようになりました。◇また、幼児・児童から大人まで幅広い層に手話とその文化を届ける手話絵本も注目されており、「しゅわしゅわ村シリーズ」（くせ さんえ作・画）など手話の基本表現・指文字をやさしく学べるシリーズが出版され、村図書館や家庭などでも手軽に手に取れるようになりました。◇ところで、私は、盛り上がるデフリンピックのTV画面や手話ドラマを見ながら、以前に南信地方で出会った女子高生Oさんのことを思い起してきました。Oさんは、両親とも聾者の元に生まれたコーダ（Children of Deaf Adults）。家庭での会話は手話。学校や友達との会話は音声言語と、両方を行き来しながら成長してきました。その彼女が、高校の人権教育全校集会で、身障者とのボランティア体験や自身の日常生活の苦楽を、手話を交えながら表情豊かに語ってくれ、全校生徒の注目を集めたのでした。◇デフリンピックを契機とした活動は、単なるスポーツイベントを超えて、お互いにお互いのことを少しばかり心配し合う「優の風景」づくりに連なっているように思います。かつての人権講演会で、有馬もとさん率いる「聴導犬」が、聴覚障害者に電話のベルを知らせ、目覚まし時計の音を知らせるといったデモンストレーションに目を輝かせて見入っていた子どもたちのことも思い出しながら、村の共生社会の今後の有りようを考える機会になりました。

（令和8年1月 M. H. 記）



山形村の 午年生まれ人口

令和8年(2026年)1月1日現在
役場住民課調べ 単位:人

生まれ年	年齢	男	女	計
昭和5年(1930年)	96歳	5	11	16
昭和17年(1942年)	84歳	39	40	79
昭和29年(1954年)	72歳	53	55	108
昭和41年(1966年)	60歳	56	44	100
昭和53年(1978年)	48歳	59	63	122
平成2年(1990年)	36歳	41	38	79
平成14年(2002年)	24歳	34	31	65
平成26年(2014年)	12歳	38	35	73
合 計		325	317	642

村内における人身事故

件数	19件(9人増)
負傷者	21人(10人増)
死亡者	0人

(松本警察署調べ12月末速報値)



人口	8,421人
男	4,144人
女	4,277人
世帯数	3,273世帯

出生数	31人(9人減)
死亡数	102人(11人増)
転入数	270人(24人減)
転出数	240人(36人減)

※カッコ内は昨年同月との比較
(役場住民課調べ12月末現在)

データあれこれ
山形村

村内における消防出動	火災	7件
	救急	312件
	救助	4件
	その他	36件

(松本広域消防局調べ12月末現在)

山形村防災士会発足

山形村防災士会が12月15日(月)に発足しました。防災士と原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動の知識・技能とそのための意識を獲得した」と日本防災士機構が認証した人です。会長の田村守康さん(上大池)にお話を伺いました。



山形保育園

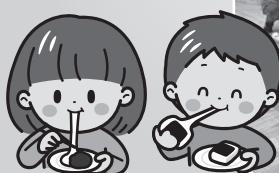
よいしょー!

もちつき会



12月18日木、山形保育園でもちつき会が行われました。最初は園児たちの応援のなか、先生方がもちつきをした後、年長さんが順番に子ども用の杵を使ってもちつきです。出来上がったつきたてお餅は遊戯室に運ばれ、年長さんが丸い形に整えます。それを年少・

見学でしたが「いい匂いがする!」「食べたい!」と笑顔があふれました。



つくりました。最初は園児たちの応援のなか、先生方がもちつきをした後、年長さんが順番に子ども用の杵を使ってもちつきです。出来上がったつきたてお餅は遊戯室に運ばれ、年長さんが丸い形に整えます。それを年少・



加して岩手県山田町とつながり、山田湾の牡蠣を山形村で販売する復興支援を継続して行っています。能登半島地震のボランティア活動にも23回もしています。災害はいつどこで起るかわかりません。一人でも多くの方に、防災を行っています。被災地の状況や「自分事」として捉えてもらえばと思います。

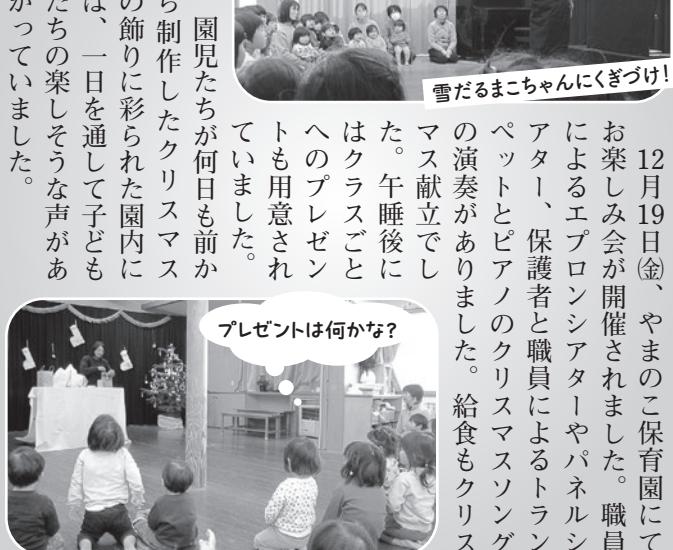
公民館講座でも、2月10日(火)にトレセン大ホールで防災講座を行います。山形村防災士会も協力します。2ページの告知版をご参照ください。多くの方のご参加をお待ちしています。

12月19日(金)、やまのこ保育園にてお楽しみ会が開催されました。職員によるエプロンシアター、パネルシアター、保護者と職員によるトランペットとピアノのクリスマスソングの演奏がありました。給食もクリスマス献立でした。午睡後にはクラスごとにプレゼントも用意されました。午睡後にはクリスマスの演奏がありました。

やまのこ保育園

★お楽しみ会★

雪だるまこちゃんにくぎづけ!



館報やまがた編集部員募集 /

新聞づくりやミニコミ誌づくりに興味のある方、ぜひお力を貸していただければ幸いです。未経験の方でも大歓迎です。一緒に館報やまがたをつくりませんか。

【仕事内容】記事の取材や執筆、月1回の校正企画会議を行っています。会議ではその月の号の最終校正を行い、次号の取材分担と構成を全員で決めます。

【任期】令和8年4月1日～令和10年3月31日

【報酬】167,700円/年



★一緒に館報作りましょう!★

北瀬	野口	森井	山口	中川
日出夫	水利	修平	實	淳太郎
77歳	88歳	75歳	87歳	55歳
下大池	下竹田	下竹田	下竹田	坂
ティアに参	東日本大震	災のボラン	災のボラン	ティアに参



山形村俳句クラブ

頌春

川柳あらわぎ

曼陀羅を画くごと殖ゆる霜の花	大野 今朝子
冬の星ギリシャ神話の多かりき	上條忠昭
冬の月我が家守りて澄み渡る	上條治子
重機もて倒す栗の木冬はじめ	荻上憲治
リビングの中にさす日や冬に入る	住吉愛子
初冬の優しさ香り卵粥	大澤富久子
力サカサと桜の落ち葉踏みしめる	竹野入恒夫
神田川に重なる鯉や冬隣	竹野入美奈子
朝そうじバケツの中に初氷	横山万里子
短日や鈴音高き子の下校	武居弘
嬉々として銀杏落葉を拾ひし頃	武居香織留
秋耕の中に残れる長芋の畝	鈴木まゆみ
純朴な円空仏や飛驒の冬	古畠房子
食紅入れるめでたき年の栗強飯	小平昭江



2026



～館報やまがたへの情報提供募集中～
身近な情報・感想をお寄せください
フォーム 下のQRコードを読み取ってください。
電話 山形村公民館 0263-9813155



屠蘇に酔い幸せ抱いて寝正月	上條光男
お餅つき白から機械今市販	青沼道子
お年玉インフレ分を増やしたよ	上條善清
お年玉貰いすぐさまほいたらね	村井稔
お年玉お米券より欲しいな	村井敏子
藁の香のしめ縄作り父忍ぶ	旗町貞子
初夢は一父母二夫三ペット	中川功子
蜂屋柿ブリ焼き子頃苦手物	古畠弘子
年おとこ賀状で送る笑い午	中村一博
年が開け争い閉じてウマに賭け	上條民雄

